

胆道閉鎖症の病型分類に関する作業部会議事次第

日時 平成 24 年 11 月 1 日 18 時 30 分から 20 時 30 分

場所 静岡コンベンションアーツセンター グランシップ 1002 号

作業部会構成メンバー（五十音順）

安藤久實	名古屋大学小児外科教授	出席
北川博昭	聖マリアンナ医科大学小児外科教授	出席
窪田正幸	新潟大学小児外科教授	出席
鈴木達也	藤田保健衛生大学小児外科教授	出席
田口智章	九州大学小児外科教授	出席
仁尾正記	東北大学小児外科教授	出席

オブザーバー

橋本 俊 先生	欠席
---------	----

事務局

佐々木英之

報告事項

1. 第一回胆道閉鎖症の病型分類に関する作業部会議事録案（平成 24 年 7 月 8 日開催）（資料 1）
2. 作業進行状況：造影データの集積・解析
 - A) 過去の造影所見の検討
過去 5 年間の登録データからの症例抽出（資料 2）
 1. 今後各施設へ協力をお願いを事務局より出す
倫理委員会への申請：すみ
 - B) 長期生存例における肝内胆管像の検討
倫理委員会への申請：作業中
 1. プロトコールについて合意が必要
前回の議事で WG 内での症例ピックアップを行うこと
に：未実施

協議事項

1. 過去の造影所見の検討について

A) 造影所見の検討

造影所見について写真を送ってもらう

1. 統一した見解で所見をとることができる
2. 写真をどのように送ってもらうかを詰める必要有り

(ア) デジタルデータか写真そのものか

チェックリストで回答してもらうのか

1. 見解の統一性が欠ける可能性あり
2. 協力が得られやすいかもしれない
3. チェックリストの内容を確定する必要有り

B) 肝生検所見との照合

(ア) 肝生検の所見をどのようにとるか

(イ) 上記の造影の所見と同様の問題

C) 臨床データとの照合

(ア) どの程度の臨床データを送ってもらうべきか？

2. 長期生存例における肝内胆管像の検討について

A) MRCP のプロトコールについて

B) MRCP の所見をどのようにとるか

(ア) 画像をみて所見をとる

(イ) チェックリストで回答

(ウ) 臨床データの照合は行うか

行うのであればどの程度の臨床データと照合すべきか